

## 研修会報告

平成 30 年 12 月 3 日

文責：播磨 晋太郎

研修会名：生物化学分析部門研修会

テーマ：「糖尿病における病態、検査、治療を学ぶ」

開催日時：平成 30 年 12 月 1 日(土) 14:00 ~ 17:10

会場：東北医科薬科大学病院 大会議室

<プログラム>

### 【講演 1】

「HbA1c 測定における注意点-偽低値?・偽高値?・異常ヘモグロビン?について-

講師：東ソー(株) バイオサイエンス事業部 カスタマーサポートセンター

伊藤 義正 先生

### 【講演 2】

「腎機能に関わる検査の有用性とピットフォール〜見落としていませんか?腎臓病〜」

講師：東北医科薬科大学若林病院 検査部 高橋 拓史 技師

### 【特別講演】

「糖尿病と脂質異常症の病態と治療、検査結果の理解について」

講師：東北医科薬科大学 内科第二(糖尿病代謝内科) 助教

東北医科薬科大学病院 糖尿病代謝内科 丹治 泰裕 先生

日臨技生涯教育研修制度：専門 20 点

参加者：会員 54 名、賛助会員 5 名、講師 3 名、実務委員 7 名、学生 1 名、非会員 1 名

計 71 名

### 【内容】

「糖尿病における病態、検査、治療を学ぶ」をテーマに、糖尿病の病態と検査値の推移を理解する事で、個々の患者データ管理の重要性を学び、日常業務に活用する事を目的に企画しました。講演 1 では、東ソー(株)の伊藤先生に HbA1c の HPLC 法の原理から測定時における注意点まで実際の症例を基に詳しく解説して頂きました。特に、波形を観察する際には、患者さんの病態を確認する事の重要性を再認識しました。講演 2 では、東北医科薬科大学若林病院の高橋技師に腎機能検査について、生化学検査だけでなく、血算、血ガスまで幅広い内容でご講演して頂きました。アンケートの結果でも、学生時代の知識が再確認できたなど、検査項目ごとにポイントを絞った解説で、生化学検査担当者でない方でも理解できる内容でした。特別講演として、東北医科薬科大学病院 糖尿病代謝内科 丹治泰裕先生に糖尿病と脂質異常症の病態、治療、検査結果の解釈についてご講演して頂きまし

た。講演の中で、糖尿病の病態を把握する完全な検査は無いが、検査を行わなければ病態を把握できないというお言葉があり、気が引き締まる思いでした。また、治療について学ぶ事が少ないため、今回のご講演は非常に有意義で、貴重な機会となりました。

今回の研修会は糖尿病をテーマにした研修会であり、生化学検査担当者以外も参加する事が予想された為に、事前申し込みの試みをしました。事前参加の連絡は30名程度であり、テキストは十分量準備したつもりでしたが、結果として不足してしまいました。他部門の取り組みを参考に、今後このような事態にならないように対策していきたいと思います。事前参加の連絡をして頂いた方々に感謝を申し上げるとともに、アンケート結果を基に会員に有用な研修会を企画していきたいと思います。

以上